



那塩道第40号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

那須塩原市長 栗川 仁



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

新緑の節、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本市の道路行政につきましてもご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました、中期的な計画の作成にあたっての意見について、別紙のとおり回答いたしますので、御高配の程よろしくお願い申し上げます。

中期的な計画の作成にあたっての回答

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

那須塩原市では、道路整備の重点化を図るため、那須塩原市道路整備基本計画を策定し、次の基本方針を掲げ実施して行くこととしています。

① 新たな都市構造に対応した一体的な骨格道路の形成

- ・広域拠点・地域拠点・観光拠点など分散した各拠点との連携及び交流を促進し、一体的かつ均衡ある発展に貢献する道路ネットワークを確立するための道路整備を推進する。
- ・あるべき将来都市像を表現していくために、広域交通に対応した新たな玄関口を整備し、都市的土地利用を誘導する先導的な道路基盤づくりを目指す。

「具体的施策」

- ・連携都市軸を強化する骨格道路の整備 2路線
- ・各市街地内の交通の円滑化を図る都市環状道路の整備 1路線
- ・拠点連結ラインを補完する道路の整備 2路線
- ・新しい玄関口としての（仮）黒磯インターチェンジの早期実現

② 人にやさしい道づくり

- ・安全かつ円滑な都市交通を確保するため、ゆとりのある道路空間を創出するとともに利用する人の視点にたった人にやさしい道路整備を推進する。
- ・住民の暮らしの場として、使う側の立場に立った利便性を高める道路整備を推進する。

「具体的施策」

- ・地域内の主要な道路の整備（補助幹線の整備） 5路線
- ・地域内の利便性を高める道路の整備（生活道路の整備） 5路線
- ・安心して通行できる道路空間の整備（自歩道の整備） 3路線

③ 環境負荷の小さい道づくり

- ・豊かな自然環境を有する那須塩原市にふさわしく、地球・地域・道路沿道のさまざまな環境に対する負荷の軽減を図るため、道路整備はもとより総合的な交通施策観点からの取り組みを行う。
- ・公共交通を支援する道路整備を推進する。

「具体的施策」

- ・公共交通機関の利用を促進する施設整備 駅前広場3箇所

④ 豊かな自然環境を生かした個性的な道づくり

- ・将来都市像である「人と自然がふれあうやすらぎのまち」に資するよう、こ

れまで培われてきた那須野が原の景観・豊かな自然環境との共生に配慮した個性的な道路整備を図る。

「具体的施策」

- ・豊かな自然環境を活用する道路の整備 1 路線
- ・観光施設を活かした一体的な道路の整備 1 路線

⑤ 整備効率を重視した道づくり

- ・厳しい財政運営の効率化を図るためにも、事業実施にあたっては、あらゆる補助メニューを模索するとともに、他の各種事業との組み合わせ等による財政負担を軽減させる総合的・効率的な取り組みを推進する。

「具体的施策」

- ・開発や他事業とのパッケージによる投資効果の高い道路の整備 1 路線

⑥ 住民参加によるまちづくりと一体となった道づくり

- ・住民と行政が創意・工夫し実践するまちづくりには、道路の整備が不可欠であるため、地域にあった道路整備を支援する。

「具体的施策」

- ・中心市街地の活性化を促進する道路整備 6 路線
- ・地域の顔となるシンボリックな道路空間の整備 1 路線

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

限られた財源を有効かつ効果的に活用するため、次の点を重視して行くこととしています。

① 事業評価システムの導入

- ・費用便益比や成果指標による客観的な施策評価の実施。

② コスト縮減・コスト低減・リサイクルの徹底

- ・低コストな建設資材の採用や建設廃材の再利用を徹底。

③ 入札制度の見直し

- ・電子入札や一般競争入札の導入。

④ 既存施設の計画的・効率的な維持管理

- ・既存構造物劣化損傷の早期発見・早期修繕による長命化や日常維持管理の効率化。

⑤ 関連事業との連携

- ・水道事業や下水道事業・区画整理事業との連携を強化することによる工事費の節減。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

栃木県那須塩原市は、平成17年1月1日に3市町が合併して誕生したまちで、国道4号、東北縦貫自動車道やJR東北本線、東北新幹線など国土交通軸上にあ

り、栃木県北部の観光リゾート地への交通の要衝地でもあります。

また、市の面積は、592.82km²と広範で、新幹線停車駅でもある那須塩原駅を始め黒磯駅や西那須野駅を中心にそれぞれ市街地を形成しており、山間部には昨年開湯1200年を迎えた、塩原温泉や板室温泉などの観光地を有しています。

これら3つの市街地拠点や2つの観光拠点を連結し、合併の効果を最大限に引き出し、地域の一体的発展や市民生活の向上、経済の活性化を図るためには、広域幹線道路や生活道路などを体系的に整備する必要があります。

このようなことから、本市では継続路線や向こう10年間に整備に着手する路線の道路整備基本計画を策定し、32路線を重点的に整備することとしています。

厳しい財政状況の中、これらの路線を計画的・効率的に整備するには、多くの財源を必要とすることから、**道路特定財源の確保は必要不可欠**であります。

また、今後の道路整備の指針となる中期計画の中には、是非とも道路規格や交通量では図れない、地方の道路の現状をご推察いただき、**補助率のアップや生活道路の整備**につきましても、**補助枠に組み入れる**等のご配慮を賜りたいと存じます。